

【ご参考】 2026年3月期 決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

【業績】	
売上高	1,429億円（前期比 47億円増収） 営業利益 111.1億円（前期比 9.0億円増益）
	USD 1.48円の円高、THB 0.28円の円安、EUR 11.92円の円安により、
	売上高 1.3億円増加、営業利益 3.5億円減少
経常利益	151.9億円（前期比 11.7億円増益）
親会社株主に帰属する当期純利益	141.8億円（前期比 12.4億円増益）
【連結の範囲】	
連結会社	23社（増減なし） 持分法適用会社 3社（増減なし）
【特別損益】	
特別利益	62.8億円：投資有価証券売却益 62.6億円、固定資産売却益 0.2億円
特別損失	21.6億円：環境対策引当金繰入額 17.3億円、固定資産処分損 3.3億円等
【期末配当金】	
期末配当	100円/株（年間180円/株※）（前期年間 135円/株※）
	※2026年4月1日付の株式分割前を基準とした金額を記載しています。

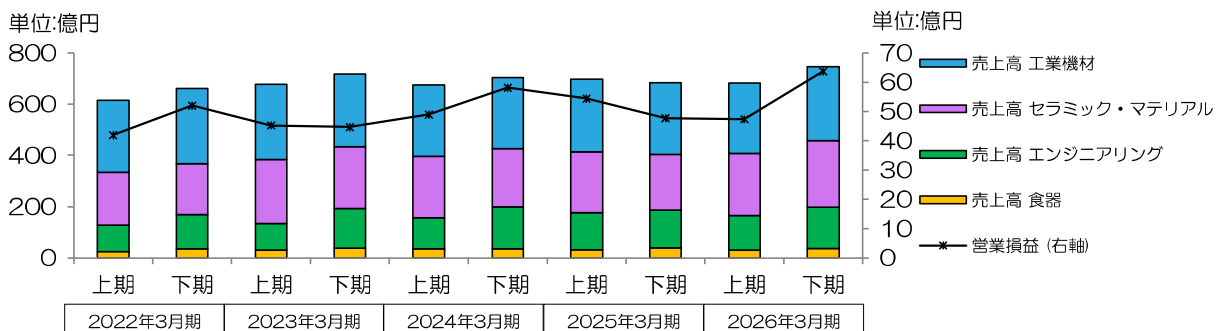
(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	対前期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	
売上高	工業機材	573	575	557	564	564	△ 1
	セラミック・マテリアル	407	492	466	455	500	46
	エンジニアリング	236	259	286	291	298	7
	食器	60	69	70	72	67	△ 5
		1,276	1,395	1,379	1,382	1,429	47
営業利益	工業機材	30.6	23.5	24.8	18.3	16.1	△ 2.2
	セラミック・マテリアル	54.2	48.4	61.8	67.3	83.2	16.0
	エンジニアリング	20.5	20.5	21.9	17.3	18.3	1.0
	食器	△ 11.8	△ 2.8	△ 1.5	△ 0.6	△ 6.4	△ 5.8
		93.5	89.7	107.1	102.1	111.1	9.0
(売上高営業利益率)		(7.3%)	(6.4%)	(7.8%)	(7.4%)	(7.8%)	-
経常利益		125.1	124.1	146.4	140.3	151.9	11.7
特別利益		1.4	12.5	20.5	40.0	62.8	22.8
特別損失		11.6	10.7	13.1	7.3	21.6	14.2
親会社株主に帰属する当期純利益		90.7	100.2	114.8	129.4	141.8	12.4
1株当たり当期純利益※		157.07円	173.64円	198.23円	225.12円	254.64円	-
1株当たり純資産※		2,045.92円	2,220.48円	2,537.24円	2,643.05円	3,031.96円	-
USD 為替レート		110.4円	136.0円	145.31円	152.57円	151.09円	-

※ 2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

半期毎の売上高及び営業損益の推移（2022年3月期-2026年3月期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2025年3月期		2026年3月期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	23	22	27	24
セラミック・マテリアル	27	17	59	17
エンジニアリング	21	3	5	4
食器	5	3	4	3
管理部門	37	6	56	8
合計	113	51	150	56

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月	対前期比
有利子負債※	65	125	26	61	132	71
現金及び預金	142	146	213	166	196	30
ネット有利子負債	△ 77	△ 22	△ 187	△ 105	△ 64	41

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2027年3月期の計画

(1) 重点施策

【工業機材】

- ・オーダーメイド品事業では、市場の変化に迅速に対応するため、従来の製品別から市場別（成長領域別）に事業体制を再編しました。徹底した収支改善（拡販・価格適正化・OEM活用・原価低減等）に取り組みます。汎用品事業では、国内及びタイ国の製造体制の再編と整備により競争力を高め、収益改善を図ります。
- ・エレクトロニクス分野を中心に成長領域向けの新商品の開発、販路の拡大、増産体制の確立に取り組むとともに、国内及び海外の販売拠点の整備、販売・製造システムの刷新を進めます。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ベーストは、価格の適正化と製品ラインナップの拡充を進めるとともに、パワー半導体周辺材料への参入と量産化に取り組めます。電子部品材料は、主力の積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強とともに、製造基盤の整備と原価低減による競争力の強化を図ります。印刷技術を中核とした事業ポートフォリオの再編に伴い製造拠点の集約を進め、新たに高収益で高効率な事業基盤を確立します。
- ・成長領域（環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング）向け新商品の開発を進めます。
- ・2026年4月1日付でセラミック・マテリアル事業に編入した食器事業は、体制のスリム化と事業運営の効率化を図ります。あわせて、セラミックス事業とのシナジー創出を通じて、収益改善に向けた構造改革を進めます。

【エンジニアリング】

- ・主力のエネルギ、エレクトロニクス分野では、開発、販売、製造、品質管理体制の整備と、アフターサービス（メンテナンス・消耗品販売等）体制の確立により、シェアの拡大を図ります。
- ・新しい分野（医薬、半導体、サーキュラーエコノミー）への参入と市場の開拓、成長領域（環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング）での新用途・新商品の開発を進めます。

【設備投資金額】

設備投資 110億円 減価償却費 60億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2026年 3月期	2027年3月期 業績予想				
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	564	285	295	580	16
	セラミック・マテリアル	568	300	305	605	37
	エンジニアリング	298	135	180	315	17
		1,429	720	780	1,500	71
営業利益	工業機材	16.1	6	11	17	1
	セラミック・マテリアル	76.8	39	42	81	4
	エンジニアリング	18.3	3	14	17	△ 1
		111.1	48	67	115	4
経常利益	151.9	65	85	150	△ 2	
親会社株主に帰属する当期純利益	141.8	55	90	145	3	

(想定為替レート USD=150円)